

公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会第16回理事会議事録

1. 開催日時

平成28年11月9日(水) 午後1時00分

2. 開催場所

東京都港区虎ノ門一丁目23番1号虎ノ門ヒルズ森タワー会議室

3. 出席者数

理事総数	35名	出席理事数	25名
監事総数	2名	出席監事数	1名

4. 出席者氏名

名誉会長 御手洗 富士夫

理事 森 喜朗、武藤 敏郎、河野 一郎、山脇 康、佐藤 広、橋本 聖子、
荒木田 裕子、中森 邦男、米村 敏朗、谷本 歩実、田中 理恵、成田 真由美、
横川 浩、川井 しげお、高島 なおき、松本 正義、麻生 泰、秋元 康、蛭川 実花、
萩生田 光一、平岡 英介、塩見 清仁、山本 隆、遠藤 利明、王 貞治

監事 黒川 光隆

5. 議事の経過の概要及び議決の結果

上記のとおり定足数の出席があったので、定刻、定款第33条の規定に基づき代表理事(会長)森喜朗氏が議長席に着き開会を宣し、挨拶をした後、本理事会の進行役として理事武藤敏郎氏を指名し、武藤敏郎氏はそれを承諾した。

その後、進行役の指示により、平成28年10月6日付で当法人の理事に就任した遠藤利明氏、王貞治氏が続けて挨拶をした。

その後、進行役は、直ちに下記議事の審議及び報告事項の報告に入った。

[決議事項]

第1号議案 副会長の選定について

議長は、別紙資料1及び参考資料記載のとおり、本日付で、理事遠藤利明氏を新たに当法人の副会長に選定したい旨述べ、その承認を議場に諮ったところ、満場一致の議決をもって原案どおり承認可決された。

なお、副会長遠藤利明氏には、会長を総括的に補佐する会長代行、国との調整及び当法人の定款第33条第2項に定める理事会の議長が欠けた場合に議長となる副会長としての役割をしてもらう旨報告した。

続いて、副会長津賀一宏氏には、引き続き筆頭副会長として、会長代行を除く副会長の代表の役割を
してもらおう旨報告した。

また、副会長河野一郎氏には、医療及びアンチ・ドーピングの担当をしてもらおう旨報告した。

第2号議案 基本財産の取扱いについて

議長の指示により進行役が指名し、事務局は、別紙資料2記載のとおり、当法人の基本財産のうち
現金57億円について、当法人と内閣府及び東京都との間で協議が調ったため、当法人の基本財産から
除外し、東京都へ返還（寄付）したい旨説明した。

その後議長が、その承認を議場に諮ったところ、満場一致の議決をもって原案どおり承認可決された。

第3号議案 評議員会の開催について

議長の指示により進行役が指名し、事務局は、別紙資料3記載のとおり、当法人の評議員会を開催し
たい旨述べ、議案の概要等を説明した。

その後議長がその承認を議場に諮ったところ、満場一致の議決をもって原案どおり承認可決された。

〔報告事項〕

1. ボランティアについて

議長の指示により進行役が指名し、事務局は、別紙資料4記載のとおり、東京2020大会に向けた
ボランティア戦略の概要（案）について、大会ボランティアの募集・研修等の運営のあり方の基本的な
考え方を提示するものであり、2018年の夏頃の募集開始に向けて本方向性に則って具体的な運営の
準備を進めていく予定である旨報告した後、各項目の方向性等を報告した。

また、ボランティア戦略の作成プロセスを報告した後、最終版を公表するまでの今後の予定を報告し
た。

2. 被災地復興支援の取組みについて

議長の指示により進行役が指名し、事務局は、別紙資料5記載のとおり、当法人の被災地復興支援の
取組みについて、これまでの取組み及び若手アスリート参画プロジェクトの実施内容等を報告した。

続いて、リオ大会を通じた被災地における取組みの内容等を報告した後、今後の被災地における
取組みとして、東京2020参画プログラムのアクション実施の推進、被災地における競技開催の
検討、聖火リレー等について報告した。

また、被災地における国・都・経済界の主な取組みを報告した。

その後、進行役は、本報告事項に関連して、被災地における試合開催について、当法人は野球・ソフ
トボールを福島県にいて開催することを検討している旨報告し、今月世界野球ソフトボール連盟が福島
県内の球場を視察した後、その評価を受けて、候補地を絞り込む予定である旨報告した。その後、本年
12月上旬のIOC理事会までに時間がないため、候補地については当法人の会長に一任したい旨報告
した。なお、決定した候補地は、速やかに各理事に連絡する旨報告した。

3. 国民参画による入賞メダル制作について

議長の指示により進行役が指名し、事務局は、別紙資料6記載のとおり、国民参画による入賞メダル
制作について、リサイクル金属を活用したメダル制作に対する街づくり・持続可能性委員会の意見や、
当法人としてのメダル制作の方向性、「みんなで作る！エコメダルプロジェクト（仮称）」を推進する

にあたってのポイント及びリサイクル金属を活用したメダル制作に必要な要件等を報告した。

4. 聖火リレーについて

議長の指示により進行役が指名し、事務局は、別紙資料7記載のとおり、2017年8月頃にオリンピック聖火リレーのコンセプトを、2018年2月頃にパラリンピック聖火リレーのコンセプトをそれぞれIOCに提出予定である旨報告し、聖火リレーの主なルール及び近年の聖火リレーの状況等の聖火リレーの概要を報告した。

また、今後、政府、東京都、全国の地方公共団体及びスポンサー等と連携しながら検討を進めていく旨報告した。

5. チケットについて

議長の指示により進行役が指名し、事務局は、別紙資料8記載のとおり、リオ2016大会のスタディとしてチケットの実績や問題点・課題等を報告した。

続いて、リオ2016大会のスタディを踏まえた東京2020大会へ向けたチケットの検討・準備のポイントを報告した。

また、ロンドン大会を踏まえたチケットと観客との関係構築について、2016年7月に開始した「TOKYO2020 IDサービス」の展望等を報告した。

その後、今後のチケット事業スケジュール等を報告した。

理事より、東京大会では再販システム、一度キャンセルしたチケットは次の人に売れる仕組み、を作るべきとの意見が出たため、事務局は間に合うよう鋭意検討する旨、回答した。

6. スポンサーの決定について

議長の指示により進行役が指名し、事務局は、別紙資料9記載のとおり、平成28年11月9日現在において、ゴールドパートナー15社、パラリンピックゴールドパートナー5社及びオフィシャルパートナー27社の計47社との間にスポンサー契約を締結している旨報告した。

その後、前回の第15回理事会以降に新たに加わったパラリンピックゴールドパートナー1社及びオフィシャルパートナー2社を報告した。

7. 調達情報に関する外部発信について

議長の指示により進行役が指名し、事務局は、別紙資料10記載のとおり、調達情報の外部発信について、その現状、今後の対応方向及び現在公開されている調達情報等を報告した。

以上をもって本理事会における全議案の審議を終了したので、議長が挨拶をした後、午後3時00分閉会を宣した。

平成28年11月9日

公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会